

氏名	岡本吉生
授与した学位	博士
専攻分野の名称	医学
学位授与番号	博乙第4414号
学位授与の日付	平成25年12月31日
学位授与の要件	博士の学位論文提出者 (学位規則第4条第2項該当)

学位論文題目	Regional Variation in Survival Following Pediatric Out-of-Hospital Cardiac Arrest (小児の病院外心停止症例の特徴と転帰についての地域差に関する検討)
--------	--

論文審査委員	教授 佐野 俊二 教授 氏家 良人 教授 大月 審一
--------	----------------------------

学位論文内容の要旨

成人病院外心停止の特徴や転帰の地域差に関していくつかの報告がされているが、小児についてはほとんど知られていない。我々は小児の院外心停止の特徴や転帰の地域差について検討した。研究デザインは前向き人口ベースコホートで、対象は日本全国17歳以下の病院外心停止症例のうち、救急隊蘇生後病院へ救急搬送された症例とした。対象期間は2005年1月～2009年12月。主要転帰は心停止1ヶ月後の社会復帰とした。全国を行政単位7ブロック（北海道東北、関東、東海北陸、近畿、中国、四国、九州沖縄）に分け比較検討した。転帰に影響する因子はlogistic回帰分析にて調整、観察期間に8240人が登録された。小児病院外心停止の10万人あたりの年間平均罹患率は、7.1-8.3であり、地域差は認めなかったが、心停止1ヶ月後の社会復帰割合は、関東(1.4% [37/2722])と比較して北海道東北(2.5% [24/967], 調整オッズ比 [95%信頼区間] 1.65 [0.94-2.90])中部北陸(2.9% [47/1614], 調整オッズ比 [1.28-3.31])近畿(2.1% [26/1239], 調整オッズ比 1.45 [0.84-2.51])、中国(3.4% [16/465], 調整オッズ比 3.11 [1.62-6.00])四国(1.5% [4/259], 調整オッズ比 0.79 [0.26-2.43])九州沖縄(2.8% [27/974], 調整オッズ比 2.15 [1.24-3.74])で地域差を認めた。既存の行政資料からその要因は説明できなかったが、小児の病院外心停止における1ヶ月後社会復帰割合に地域差があることが明らかとなった。

論文審査結果の要旨

本研究は、小児の病院外心停止症例の特徴と転帰についての地域差に関する検討を行ったものである。全国を北海道東北、関東、東海北陸、近畿、中国、四国、九州沖縄の7つのブロックに分け、検討を行った。2005年1月～2009年12月までの8240人（年間10万あたり7.1-8.3）を検討すると、院外心停止に地域差は認めなかったが、1ヶ月後の社会復帰の割合には地域差を認めた。小児の病院外心停止における1ヶ月後社会復帰割合に地域差があることを認めたいはじめての論文であり、価値ある業績であると認める。

よって、本研究者は博士（医学）の学位を得る資格があると認める。